

IGF Japan 第1回全体会議 開催報告

社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)

—記—

1. 開催概要

日時：2011年7月 21日（木）10:00～19:00

22日（金）9:00～18:00

場所：京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク 東地区1号館

参加者：初日70名 2日目40名 USTREAM 視聴数：509

セッション数：7 BoF：1

発表件数：18件 パネラー数：21名 登壇者数：26名

主催：IGF Japan（事務局 JAIPA）

後援：総務省

協賛：イー・アクセス株式会社、NEC ビッグロブ株式会社、
NTT コミュニケーションズ株式会社、KDDI 株式会社、
シスコシステムズ合同会社、GMO インターネット株式会社、
ソネットエンタテインメント株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、
ニフティ株式会社、マイクロソフト株式会社（50音順）

協力：フューチャースピリッツ株式会社 カゴヤ・ジャパン株式会社
ディーシーエヌ株式会社（USTREAM）

2. 謝辞、概要（議長総括から）

お陰様で、今回京都で、IGF-Japan の最初となる全体会議を行うことができました。今回ご協賛いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。

今回の会議には、総務省からは総合通信基盤局の桜井俊局長が挨拶にお越しいただき、国連のIGF事務局のチェンゲタイさん、次回のIGF開催国であるケニアのIGF議長アリス・ムンユアさんからもビデオメッセージをいただきました。

会議の最初には、元ICANN理事の加藤幹之さんから、国益や安全保障という点でも、インターネットの制度の確立に関わることは重要なことであるという話がありました。これを皮切り

に、クラウドにおける個人情報の保護、児童ポルノの規制について各国の制度が異なることの問題などから議論が始まりました。

インターネット・クリティカル・リソースのセッションでは、IPv4 から IPv6 への移行が議論され、10 年くらいで IPv6 に移行するという意見と、今後数十年は IPv4 が残るといった意見が議論されました。一方、インターネットも固定網から移動網にシフトするトレンドが確認され、端末の IP アドレスの問題は今後ますます重要になりつつあると認識されました。

セキュリティ面では、情報セキュリティ大学院大学学長の林紘一郎先生の「ウィキリークスが変える世界」が非常に印象に残りました。林先生からは、情報を長期間にわたって秘匿しておくことはデジタル化で難しくなりつつある一方、機密情報の全てを強制的に公開することは必ずしも支持されないことなどが紹介されました。

チェニアのラフィク・ダンマクさんは、当初会場に来ていると皆思っていたのですが、当日になってまだチェニアに居ることが分かり、急遽スカイプから参加してくれました。そして今年の初めに起こり、今も続いているチェニアのジャスミン革命について伝えてくれました。まだ新しい政権ができたわけではなく、軍事法廷がまだ人を逮捕している状況で、フェイスブックが市民のパワーとなり、憲法も議会もない移行過程で無政府状態に近い状況をニコニコしながら話してくれたのが印象に残りました。

インターネットガバナンスは、色々な主張を持つ国同士が集まっているので、物事はまず決まりません。今回の会議も言い放し、聞き放しの状態でしたが、それがまたインターネットらしいと感じられました。これで何かを決めようというのではなく、色々な立場の人が言っていることを聞き、影響を受け、何かが変わると思っています。

今回の会議の最後は一橋大学名誉教授の堀部政男先生による、「日本の個人情報保護とグローバルハーモナイゼーション」でした。ヨーロッパの個人情報保護と日本、アメリカの関係など、若干の矛盾も感じつつも、その違いや問題点が明らかになりました。

参加者は初日で 70 人、2 日目で 40 人位でしたが、非常に充実した議論が終始行われ、またフロアからの質問や意見もかなり活発に寄せられました。

この会議の成果につきましては、9 月にケニアや行われる IGF の全体会合におきまして、日本のナショナル IGF の活動として報告する予定です。

社団法人日本インターネットプロバイダー協会 渡辺 武経

プログラム内容

2011年7月21日(木)

10:00~10:05 開会挨拶

JAIPA 会長 渡辺 武経

10:05~10:10 来賓挨拶

総務省 総合通信基盤局
局長 桜井 俊様

10:10~10:25 ビデオレター紹介

10:25~10:45 IGF とは何か

インテレクチュアル・ベンチャーズ 上級副社長
兼 日本総代表
加藤 幹之様



10:45~12:30 災害時と復旧・復興時におけるインターネットと ICT

[講演] 東日本大震災に対する総務省の取組状況について
総務省総合通信基盤局データ通信課
課長 斎藤 晴加様



[パネルディスカッション]

モデレータ：ハイパーネットワーク社会研究所／

多摩大学情報社会学研究所／iSPP 代表理事 会津 泉様

パネラー：神戸と学ぶ防災市民塾／iSPP 代表理事 松崎 太亮様

KDDI 執行役員 技術統括本部 副統括本部長 小林 洋様



12:30~13:20 昼食

13:20~16:20 クリティカルインターネットリソース

[講演] IPv4 アドレス在庫枯渇と IPv6 への移行

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター IP 事業部課長
佐藤 晋様

[講演] IPv6 対応の技術的課題と現状

日本ネットワークイネイブラー株式会社 中川 あきら様

[講演] World IPv6 DAY 報告：IPv4 枯渇タスクフォース

JAIPA 会長補佐 木村 孝

[講演] インターネットのルーティングについて
シスコシステムズ合同会社 印南 鉄也様



[パネルディスカッション] 中長期的な IPv4 から IPv6 への完全移行 10年～50年
モデレータ：財団法人インターネット協会

副理事長 木下 剛様

パネラー：社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
佐藤 晋様

日本ネットワークイネイブラー株式会社

中川 あきら様

イー・アクセス株式会社 小畑 至弘様

NEC ビッグロブ株式会社 岸川 徳幸様

JAIPA 会長補佐 木村 孝



[講演] ccTLD の利用実態から見るドメイン名のガバナンスの課題
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
主幹研究員（准教授） 上村 圭介様

16:20～16:40 休憩

16:40～18:35 セキュリティ関係

[講演] ウィキリークスが変える世界

情報セキュリティ大学院大学 学長 林 紘一郎様



[講演] 表現の自由とチュニジア

東京大学/ICANN GNSO Council ラフィク ダンマク様

18:50～20:50 情報交換会

2011年7月22日（金）

9:00～11:30 児童ポルノブロッキングについて

[講演] ブロッキングの実施に向けた法的課題

弁護士法人英知法律事務所 弁護士 森 亮二様

[講演] 4月に開始されたブロッキングの現状と実態について

JAIPA 会長補佐 木村 孝

[講演] 青少年条例と憲法

京都大学 大学院法学研究科准教授 曾我部 真裕様

[パネルディスカッション]

モデレータ：JAIPA 会長補佐 木村 孝

パネラー：弁護士法人英知法律事務所 弁護士 森 亮二様

京都大学 曾我部 真裕様

11:30～12:30 昼食

12:30～15:10 クラウドにより豊かになる社会

[講演] クラウドの発展による社会への貢献：現状と将来の展望

日本マイクロソフト株式会社

技術統括室／イノベーションセンター

本部長 田丸 健三郎様

株式会社セールスフォース・ドットコム

FS 営業本部 シニアアカウントマネージャー 佐々木 道代様

NTT コミュニケーションズ株式会社

ビジネスネットワークサービス事業部 販売推進部担当部長

中山 幹公様

ニフティ株式会社 クラウドビジネス部 部長 上野 貴也様



[パネルディスカッション]

モデレータ：イー・アクセス株式会社 執行役員 小畑 至弘様

パネラー：日本マイクロソフト株式会社 田丸 健三郎様

株式会社セールスフォース・ドットコム 佐々木 道代様

NTT コミュニケーションズ株式会社 中山 幹公様

ニフティ株式会社 上野 貴也様

弁護士法人英知法律事務所 弁護士 森 亮二様



《BoF》

13:00～15:00

インターネットガバナンス研究者等による BoF (会議室 A)

《BoF》

15:10～15:30 休憩

15:30～17:30 日本の個人情報保護とグローバルハーモナイゼーション

[講演] 海外のデータ保護ルールと日本

一橋大学 名誉教授 堀部 政男様



[パネルディスカッション] 世界のルールとのハーモナイゼーション

モデレータ：JAIPA 副会長 立石 聡明

パネラー：一橋大学 名誉教授 堀部 政男様

株式会社レキサス 代表取締役社長 比屋根 隆様

日本映画大学 準教授 中川 譲様

17:30～18:05 IGF-Japan 第1回 WrapUp

BoF 報告 上村 圭介様

議長総括 渡辺 武経会長



18:30～20:30 情報交換会

以上